

環境に優しく、災害時にも安心な ZEVへの転換を検討しませんか!?



ZEV(ゼロエミッションビークル)とは・・・

走行時にCO₂（二酸化炭素）などの排出ガスを出さない自動車のこと。ZEVには、EV、PHV、FCVの3種類があります。

EV
(電気自動車)

バッテリーに充電した電気だけで走行します。

PHV
(プラグインハイブリッド自動車)

バッテリーに充電でき、電気とガソリンで走行します。充電した電気だけでも走行可能です。

FCV
(燃料電池自動車)

水素を燃料とし、水素と空気中の酸素で発電した電気で行きます。水素は専用の水素ステーションで補充します。

ZEV転換の3つのメリット

メリット1 環境にやさしい!

ZEVは、**走行時のCO₂排出がゼロ!**
ガソリン車で10km走行した際に排出するCO₂を1日で吸収するには杉の木52本が必要です。



メリット2 乗り心地が快適!

ZEVは、ガソリン車のような音や振動がなく、スムーズに加速するため**乗り心地が快適**です。

メリット3 災害のときも安心!

ZEVの多くは、車内に備えられたコンセントや外部給電器を利用することで、**災害等の停電時に電気を使えます。**



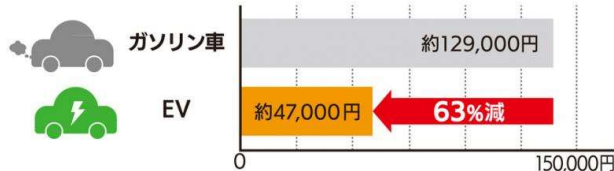
停電時に車から電気を供給

しかもEVなら… 走行コストが安い!

年間の走行距離10,000kmの場合、EVの走行に必要な1年間の充電代は約47,000円。一方、ガソリン車の燃料代は約129,000円です。

また、基本的に自宅で充電するため、ガソリンスタンドに行く手間が省けます。

■ 10,000km走行時のコストの比較



※ガソリン車の燃料代は、13km/L、168円/Lで計算
※EVの充電代は、6.5km/kWh、31円/kWhで計算



栃木県



「災害時電源ZEV導入促進事業」

専用サイト



申請期間：令和8（2026）年4月27日（月）～令和9（2027）年3月31日（水）

※予算に達し次第受付終了（受付先着順）

対象者

県内に事業所を有する中小企業者等※

※ 中小企業者、中小企業団体、医療法人、社会福祉法人、学校法人、青色申告を行っている個人事業主 等

対象車両

国の補助金※の交付対象となるEV、FCV又はPHV

※下記のいずれかに該当する補助金

（一社）次世代自動車振興センター「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」

（一財）環境優良車普及機構「脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金（商用車等の電動化促進事業（トラック））」

（公財）日本自動車輸送技術協会「脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金（商用車等の電動化促進事業（タクシー・バス））」



補助金額

EV・FCV：1台あたり20万円（定額）

PHV：1台あたり10万円（定額）

要件

- 給電機能付きの車両
- 栃木県災害時協力車登録制度への登録

○災害時協力車制度の概要



詳しくは県HPへ

栃木県災害時協力車登録制度



さらに…

国の補助金との併用が可能！！

令和7年度補正 補助上限額

※導入する車両により補助額が異なります。

車別	上限額	車別	上限額
EV	130万円	PHV	85万円
軽EV	58万円	FCV	150万円

お問い合わせ

一般社団法人次世代自動車振興センター

TEL：0570-001-136（ナビダイヤル）

受付時間：10:00～12:00 / 13:00～16:00

（土・日・祝日、年末年始は休み）

URL：<https://www.cev-pc.or.jp/>



問い合わせ先

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林部気候変動対策課

TEL：028-623-3186 Email：kikou-hendou@pref.tochigi.lg.jp



栃木県